

## 平成23年度 第2回 宮城大学大学院 食産業学研究科 教授会 議事録

開催場所	管理棟 大会議室	開催日時	平成23年5月11日（水） 15:30～16:40
出席者	38名／定数39名		
	<p>大久教授，加藤教授，中村(正)教授，矢野教授，上島教授，本蔵教授，池戸教授，齋藤教授，森山教授，石田教授，川村教授，大竹教授，西川教授，小林(仁)教授，三石教授，津志田教授，松森教授，下山田教授，井上教授，北辻教授，木村教授，小黒教授，森本教授，岩浪准教授，笠原准教授，鶴岡准教授，中村(聡)准教授，原田(敏)准教授，岩井准教授，金内准教授，川島准教授，白川准教授，紺屋講師，千葉講師，原田(茂)准教授，森田准教授，石川准教授，都准教授</p> <p>[欠席] 環境 神宮字准教授</p>		
	西垣学長，（事務局）眞山参事兼総務学務課長，半田課長補佐，小野寺課長補佐，深町主事		
<b>議 事 内 容</b>			
審議事項	<p>議事録署名人に研究科長，中村聡准教授を指名した。</p> <p>(1)第1回議事録の確認について 第1回食産業学研究科教授会議事録について、メールで送信済みであり、原案のとおり承認された。</p> <p>(2)大学院博士課程の申請について 資料1に基づいて、副研究科長より、前回の大学院博士課程設置申請から申請取り下げまでの経過が説明された。平成23年度の中期計画の中に、博士課程設置にむけて準備を進めると記載しており、来年度、改めて設置申請をしていく方向で進めていきたいと研究科長より提案がなされた。以下の内容が話し合わせ、来年度の設置申請の方針について承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善点として、「食産業学」に係る社会的な適正評価の早期確立とあげているが、どこで検討し、どのようにこの1年間で進めていくのか方針は決まっているのかという疑問が出された。また、来年度の申請とスケジュールを先行させるのではなく、充分時間的余裕を持って行っても良いのではと意見が出された。研究科長より、運営会議や設置準備委員会で検討を行っていくこと、食産業学に関する専門的な教科書になるようなものを学内の先生方で早急に作った方がよいのではという意見も出ており、そういったアイデアを出してもらいながら、検討していくことが説明された。また、前回の申請内容で、内容は8割ほど出来ていると認識しており、評価の確立と並行して申請を行っていくことがよいと考えていることが説明された。</li> <li>・教員で、今後、教授陣の入れ替わりが想定され、カリキュラムや、教員配置についての議論が必要になってくると考えられ、来年申請出来るかどうかの現状を分析する準備委員会等が必要ではないかと意見がだされた。研究科長より、カリキュラムについては、修士課程のカリキュラムの見直しも可能となっており、修士課程との整合性を取りながら、また、分野の検討も含め、カリキュラムの見直しを行っていくことで、十分に教員配置が可能であると説明がなされた。</li> <li>・修士課程と博士課程について、修士課程の見直しも含め、一貫した内容作りが必要ではと意見が出された。研究科長より、修士課程の完成年も迎えており、修士課程を含め、カリキュラムを検討していくことが伝えられた。</li> </ul> <p>学長より、博士課程の申請にかかり、以下の通り意見が出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食産業学に関して、宮城大学として博士課程まで設置するという事は難しいことだと考えている。前回は、申請内容が至らなかったため、申請を取り下げたとのことだったが、私の考えとしては、教員審査になぜかかっていたのかを考えるべきであると思う。そのためにも、食産業学は、休み返上で話し合い、命がけでコアカリキュラムを作らなけ</li> </ul>		

報告事項

ればならない。自分たちのしている講義を精査し、シラバスまで戻って、他の講義とどう違うのか、学問として独立性が取れるのか突き詰めなくてはならない。自分のシラバスを見直して、それを自分のシラバスから出発して、大学院のどのパーツを守っているのか、学位のどこを担うのか、みんなで絵を描き、本気で取り組んでいてもらいたい。

(1) 研究科委員会報告

● 教務委員会報告。

資料2に基づいて、教務委員長より報告がなされた。

● 入試委員会

入試委員長より、修士課程入試について、8月6日に予定通り行い、合格発表は日程を早めて8月12日に行う予定であることが報告された。学生への周知は、6月中旬に4年生向けに学内入試説明会を実施する予定であることが説明された。震災の影響もあり、4年生のモチベーションが下がっていることや、県外の受験生から敬遠される恐れがあるが、震災のため研究のフィールドが広がり、県外からも様々な研究課題を持つ学生が入ってくる可能性もあり、そういう学生にはしっかり勧めてもらいたいと説明がなされた。また、学内からの希望者数の把握のため、進学を検討している学生がいれば、入試委員長まで知らせてもらいたいと協力依頼がなされた。

議事録署名人

加藤 徹 印

中村 聡 印